

感性を活かす、ユニークな発想を磨く、個性を伸ばす、世界をデザインする **2D・3D デザイナー求人誌**

サクラは、人が集まる、感動を共有する空間創りのプロ集団です。

Q イベントの市場規模はどれくらいですか？

約4兆円市場と言われていて、広告市場の約6兆円につづく市場です。年間全国で開催されるイベント数は約4万1千件、その中でもサクラの主力市場である見本市・展示会市場規模は、約1兆円、販促イベントは1兆2千億円、会議イベントは約6千億円、3市場を合わせると約2兆8千億円の市場となります。

(財団法人イベント産業振興協会2004年度資料)

Q 見本市・展示会で今、世界で注目されている開催国は？

見本市はヨーロッパが誕生の地ですが、経済の中心がアメリカに移行すると同時に、見本市や展示会の中心もアメリカに移りました。そして次世代の世界経済の中心、見本市の開催国として、世界から期待されているのがブラジル、ロシア、インド、チャイナ、いわゆるBRICsの国々ですね。その中でも最もインドが注目されています。特に、サクラはインド貿易振興局との関係も深く同局が日本国内で主催する、見本市・展示会のトータルサポートを担当しています。



■インド貿易振興局主催の「インド衣料展」

Q 海外物件のデザインワークが多いと聞きましたが？

サクラは日本企業の海外見本市の出展・展示サポートからスタートした会社ですから、現在でもドイツ、イタリア、スペイン等の欧州、ドバイ、インド、シンガポール、中国、韓国の中近東・アジア市場、もちろん、アメリカ市場に進出したい日本企業の展示サポートから、同時に海外から日



■「UAE-日本ビジネスフォーラム2007」会場



■海外パソコンメーカーによるプレス発表会場

本市場への進出を目的にした各国の政府機関・企業の展示会を「企画・デザイン・製作・施工・運営管理」まで、トータルにサポートを行っています。当然、デザインワークもグローバル対応ですね。物件内容によっては、海外現地のデザイナーとコラボレーションで、展示の企画・デザインを行っています。益々、世界のネットワークの中でデザインワークに参加することも多くなるでしょうね。

Q デザインのフィールドもどんどん広がっていると聞きましたか？

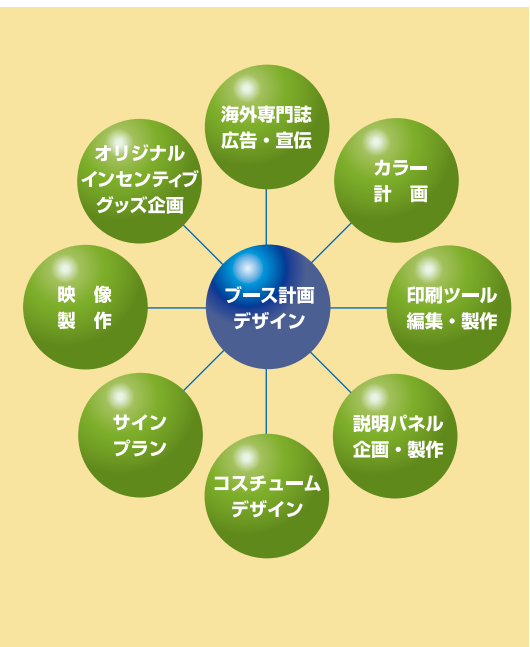
そうですね。主力のデザインワークは国内の見本市の会場構成から、サイン誘導プラン、企業の展示ブースの企画・デザインですが、サクラのお得意様の業種が多分野に亘るため、工業機械等のハードイメージのブースから、ファンシーグッズなどのソフトイメージのブースまで、様々



■玩具メーカーのファンシーグッズ展示ブース

Q サクラのデザインワークの特徴は？

サクラでは、一つの物件をグラフィックデザイナー(2D)とスペースデザイナー(3D)が共同して企画提案することが多いですね。ブースキービジュアルやカラーコーディネートなど、お互いにアイデアを出しながら、相互のグッドスキルを導きだして進めています。とくに見本市



展示会の出展目的は、出展企業の販促活動の一環にあるわけですから、お客様の販促効果をより一層高めるために、「ブースデザイン+販促ツール」のトータル提案を行っています。提案メニューは、商品カタログ、パンフレット、海外専門誌への告知広告、キャリアバック、説明パネルなどのグラフィックツールから、映像製作、PR広告等、提案内容は多岐にわたっています。

新しいことにチャレンジする **Top Runner** バンダイ様が全国展開する、ファッション雑貨の新ブランドショップ「シャムロックエアライン」道祖君と横倉さんコンビが原宿1号店をオープンさせました。



- 店名: シャムロックエアライン オフィシャルショップ
- クライアント: 株式会社バンダイ
- プロデューサー: 道祖健吾(サクラインターナショナル)
- デザイナー: 横倉淳子(サクラインターナショナル)
- 施工: サクラインターナショナル様
- 所在地: 渋谷区神宮前1-19-11 はらじゅくアッシュ1階
- 店舗面積: 49.5㎡(約15坪)
- 取扱いアイテム: 約200アイテム

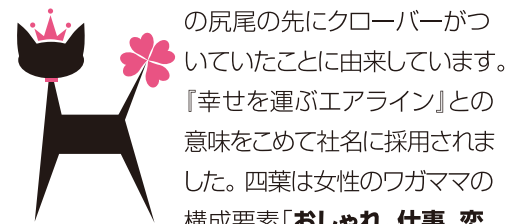


原宿にレディ専用旅客機 シャムロックエアラインが就航!

ピンクの航空会社「シャムロックエアライン」の創設は1929年、ハワイに程近いShamrock Islandに本社を置く航空会社です。自他共に認める「世界一のワガママ女」SAYOKOが2代目オーナーに就任。彼女のワガママから次々と生み出される商品やサービスが、世界の女性を魅了、憧れの的となりました。



伝説の黒猫「シャムロックキャット」の「シャムロック」はアイルランドで「クローバー」の通称、黒猫



の尻尾の先にクローバーがついていたことに由来しています。『幸せを運ぶエアライン』との意味をこめて社名に採用されました。四葉は女性のワガママの構成要素「おしゃれ、仕事、恋、遊び」の集合体としてSAYOKOが定義、「女性はいつも、女王でいなくちゃ!」の願いをこめて、SAYOKOの代から頭上にティアラをのせた黒猫をロゴとして採用されました。『わがママ?すべて叶えちゃえばいいじゃない』が「シャムロックエアライン」のスローガンです。

大人や高齢者向け市場の開拓を積極的に進めている玩具メーカー株式会社バンダイは、世界のセレブ女性に人気のある航空会社「シャムロックエアライン」に注目、同時にファッション雑貨の新ブランドとして、架空の航空会社「シャムロックエアライン」を立ち上げ、20代後半から30代の女性をターゲットに2007年10月からショップ展開をスタートすることになりました。

サクラはオフィシャルショップ原宿1号店の店舗基本プランからデザイン・設計・施工、レセプションパーティ会場プランまで、トータルに携わりました。

3年間で50億円市場へ

取扱い商品はオリジナルトラベルグッズ、食器、リングやピアスなどの小物雑貨約200アイ

テム。それに、「ZERO HALLIBURTON」のアタッシュケース、「PEACH JOHN」のアップルなど有名ブランドのコラボ商品も同時に提供する。シャムロックエアラインが目指すビジネスは、専門メーカーや小売店へのライセンス商品の提供、「ファッションビューティーへの投資を惜しまないわがママの女性」、エンドユーザーへのショップ販売、B to B to Cビジネスモデルで3年後、50億円市場を目標に掲げています。

オフィシャルショップのデザインコンセプト

オフィシャルショップ原宿1号店外装は、ピンク色の飛行機の胴体をモチーフにして、「シャムロックエアライン」ブランドイメージを訴求しています。ショップ内はプライベートジェットキャビンイメージしたデザインコンセプトで、店内にリクライニングシートやコンソールボックスを配置。基調色は白、シャンデリアが洗練された雰囲気を出しています。原宿1号店に続いて、大阪アメリカ村に、11月10日「シャムロックエアライン」コーナーが誕生しています。



大阪アメリカ村の「シャムロックエアライン」コーナー

■求人のお問い合わせは 大阪 06-6624-3601 松井 / 東京 03-5646-1160 折原 HP: <http://www.sakurain.co.jp>

感性を活かす、ユニークな発想を磨く、個性を伸ばす、世界をデザインする **2D・3D デザイナー求人誌**

Sakura's Design Blick

Sakura's Design View

入社歴1年6ヶ月のデザイナーFさんの5days

デザイナーの1週間の仕事を紹介します。

月曜日 9:00 朗報が入る
 営業企画の大平君から朗報が飛び込んだ。今年秋にシカゴで開催される世界最大の工作機械展の日本企業ブースのデザインコンペで、僕の提案が採用された。シドニー湾のオペラハウスをイメージしたブース提案はかなり冒険だったけれど、それだけに採用の朗報に身震いした。サクラでは海外物件は日常茶飯事。でも今回は規模・予算共に大型物件だけにプレッシャーも大きく、自信と不安が交差するハラハラドキドキの1週間だった。わずかデザイン歴1年半で大きなプロジェクトを任されたことに、今素直に感謝している。

月曜日 13:00 営業企画と新しい物件
 興奮冷めやらないハイテンションで、営業企画の木田君と新しい物件の打ち合わせに入った。新物件はファッショングッズのメーカーブース。サクラでは自分の挑戦したい多様な業種や企業の展示ブースデザインに携わることができる。それも大きな魅力だ。もちろん展示ブースだけでなく、世界の要人を集結させた国際コンファレンスの会場設計から、世界のバイヤーが一堂に集まる国際見本市全体の外装プラン・会場設計まで担当する。この幅の広さが僕のデザインスキルを育てる源だ。

月曜日 15:00 情報収集
 営業からのヒアリングとWebで会社概要や商品情報など、クライアント情報を収集する。展示会は自社の商品のよさや優れた技術をお客様にダイレクトに伝え、その反応を瞬時に収集



■東京本部のデザインルーム

できるメディアだ。来場者が入ってみたいと思わせるブースデザインのインパクト性はもちろん、来場者をスムーズにブースに引き込む導線、クライアントのメッセージをより効果的にコミュニケーションする展示演出、時には映像やナレーターを採用も視野に入れて、ブースのゾーニングプランを作成していく。



■制作中のデザインスタッフ

水曜日 15:00 ベースプラン仕上がる
 ゾーニングプランを基に営業企画の木田君と調整、この時点では線画でのブースベースも仕上がっている。多少営業企画からの要望も出たが90%原案に近い形で社内の方向が決まった。途中からグラフィックデザイナーの西川さんも参加。仕上がりを想定しての提案書の頁構成を3者で決める。今回は15ページ程度の内容になりそうだ。

木曜日 9:00 スケジュール調整
 前日に図面の修正作業は完了。グラフィックデザイナーの西川さんとブースのカラーリングやキービジュアル、ロゴの扱いを調整して3Dに仕上げる作業に入る。金曜日中に図面を完成。

仕上がった3D図面を基に営業・デザイナーが集まり最終提案書の頁構成を再調整、来週の月曜日に提案書に落とし込む予定。プレゼンテーションは火曜日の午後2時と決まった。

金曜日 16:00 提案書の雛形が完成
 グラフィックの西川さんからは最終に近い形でラフの提案書が提出され、木田君と僕も参加して最終調整。この時点で木田君は今回の提案に手ごたえを感じたようだ。互いの個性と個性がぶつかって作品を創り上げる。時には意見の違いで険悪なムードにもなる。そのハードルを越えて一つの作品が生まれる。個性を活かしながらチーム力でチャレンジする、この緊張感が僕にとって居心地のいい職場環境になっている。



■提案書を営業企画と検討するデザインスタッフ

金曜日 19:00 退社
 「無から有を産む」ことは言うほどそうカンタンじゃない。だからこそ今度の海外物件のように達成感も見返りも大きくなる。明日は、アールヌーヴォー展に出かけるつもり。仕事に直結するわけではないが、ジャンルにこだわらず世界の一流に触れるように常に心かけている。

施工担当の加藤さんから、僕がデザインしたブースの来週水曜日の施工立会い確認の電話を携帯にもらった。コンピューターのモニターの中で描いたブースが自分の目の前に立ちあがっていくのは、何度経験してもその都度熱いモノが込みあがってくる。

特にクライアントから、「いいブースに仕上がったね。ありがとう」と肩を叩かれた時はウルルン状態。よし大平君を誘っていつものピアカフェで祝杯を上げるか。でも再来週は上海出張が入っているので一寸プレーキをかけて乾杯だ、と、夕刻の街に足を踏み出した。



今までパソコンのモニター上に立っていたブースが、現場で実寸で組み立てられています。自分の発想、アイデア、迷い、自信、色々な思いが詰まったブース。世界に一つしかない自分の作品が産声を上げる瞬間です。



奥野 真衣
 京都嵯峨芸術大学
 短期大学部卒業
 大阪デザイン部

8月から大阪デザイン部にグラフィックデザイナーとして活躍されているサクラのニューフェイス奥野さんに、仕事や今後の夢についてお話を聞きました。

入社したときは展示会や見本市の知識は全くありませんでした。

もともと私はグラフィックデザイナーとして、通販カタログやパンフレット、チラシなどの印刷物のデザインに4年間ほど携わっていました。大学時代も制作プロダクションに勤めていた時も、見本市や展示会の経験が全くなく、ましてや見本市や展示会でグラフィックデザイナーがデザインを担当しているなんて想像もできませんでした。まずそれが驚きでした。デザインソフトが使えるというスキルだけで、見本市・展示会のトータルサポートをおこなっているサクラに飛び込んでしまいました。この数ヶ月、先輩から多くの事を初めから教えてもらいました。

自分のデザイン力で20万人を誘導するサインデザイン。

今までの仕事との違いですか。そうですね、現在見本市の外装サインのデザインがメインの仕事、とにかくサインの仕上がりサイズが10mを超えるのがざらにあって、その大きさにまずビックリしました。それと案内サインは、来場者が広い見本市会場で迷うことなく目的場所へスムーズに誘導する役割を担っている訳ですから、見やすさ、分かりやすさはもちろん、誘導の導線を考え適切なサインの配置プランも大事になりますね。自分のデザインで20万人を超える来場者を誘導していると思うと印刷物のデザインでは味わえない感動と達成感があります。

裾野も幅も広い仕事。学ぶ事、やりたい事がいっぱい。

入社して初めて知ったことですが、見本市展示会でグラフィックが担当する仕事は本当に多岐に亘っています。見本市のメインビジュアルの制作から、外装サイン、展示ブースのビジュアル、説明パネル、製品カタログなどの印刷ツール、専門誌の宣伝PR広告、コンパニオンの衣装デザインなど様々。1日でも早く力を付けて一つ一つ挑戦して行きたいですね。



展示会、イベントの総合企画・デザイン・製作・施工・保管

- 主催者業務も「企画・デザイン・製作・施工・保管」のフルターンキーベース。
- 海外展も「企画・デザイン・製作・現場管理」をフルターンキーベースで行っています。

サクラインターナショナル株式会社

HP: <http://www.sakurain.co.jp> E-mail: info@sakurain.co.jp

- 東京本部** 〒135-0046 東京都江東区牡丹 1-15-5 POINT ST ビル9階
- 本社** 〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町 1-22-11
- 東京第一スタジオ** 〒136-0074 東京都江東区東砂 2-1-14
- 東京第二スタジオ** 〒136-0082 東京都江東区新木場 1-8-6
- 奈良工場** 〒633-2422 奈良県吉野郡東吉野村鷺家 1121

- Tel: 03-5646-1160 Fax: 03-5646-1161**
- Tel: 06-6624-3601 Fax: 06-6624-3602**
- Tel: 03-5690-3976 Fax: 03-5690-3977**
- Tel: 03-3522-7018 Fax: 03-3522-7019**
- Tel: 0746-42-1097 Fax: 0746-42-1096**